

平成29年（2017）年度学部卒業生フォローアップ調査結果

〈調査概要〉

目 的：寄せられた意見を今後の広島大学の教育・研究の改善に活かし、優れた人材育成に繋げていく。

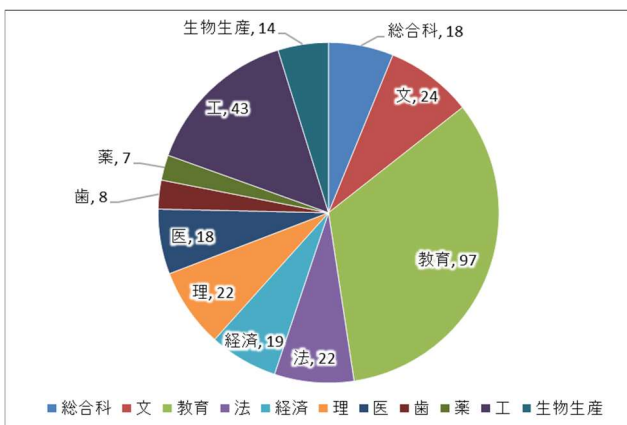
対 象：平成29年（2017）年度学部卒業生

方 法：校友会登録メールアドレス・校友会登録住所・入学時の家族住所あて調査票を送付し Web 回答。

期 間：令和5年12月28日～令和6年2月28日

状 況：発送数2,447、回収数292、有効数292、
回収率11.93%（前年度回収率10.94%）

内 訳：総合科学部18、文学部24、教育学部97、法学部22、経済学部19、理学部22、医学部18、歯学部8、薬7、工学部43、生物生産学部14、無回答0

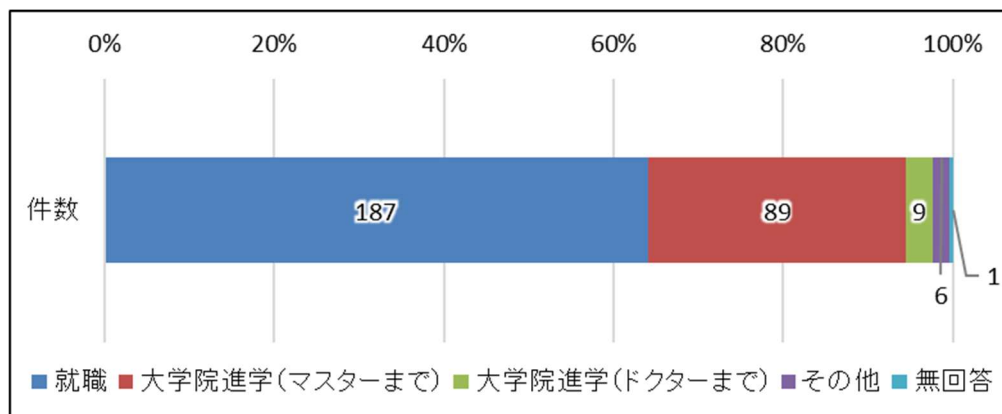


〈調査結果〉

【質問】 4. 学部卒業後の進路

1. 就職, 2. 大学院進学（マスターまで）, 3. 大学院進学（ドクターまで）, 4. その他

【結果】



【質問】 5. 大学生生活全般の下の項目は、現在どの程度役に立っていますか？

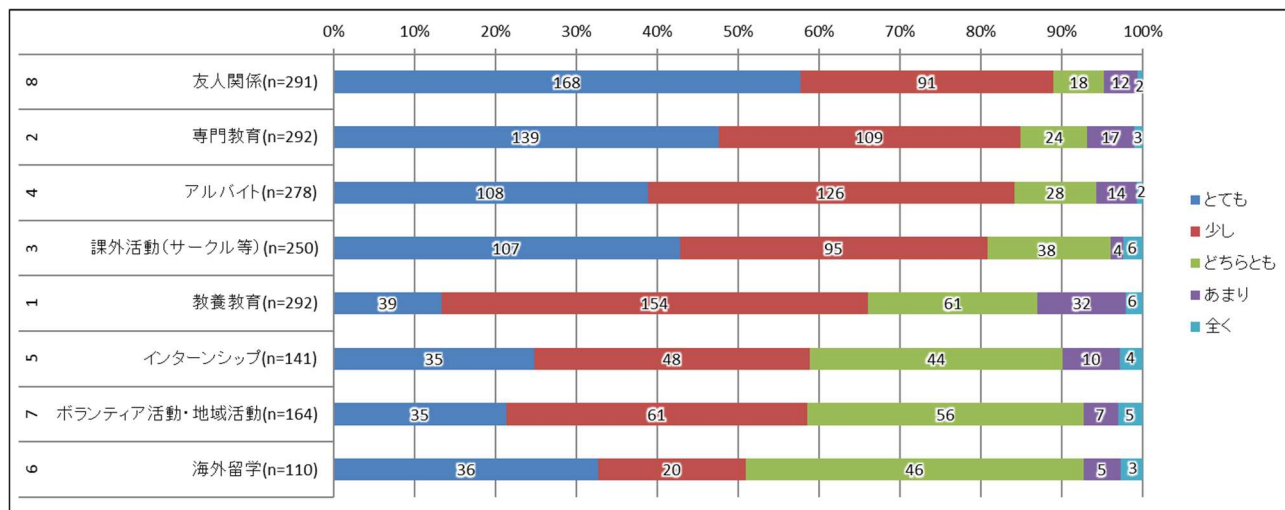
1. 教養教育, 2. 専門教育, 3. 課外活動（サークル等）, 4. アルバイト, 5. インターンシップ, 6. 海外留学, 7. ボランティア活動・地域活動, 8. 友人関係

【結果】（高評価の割合順）

※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらとも言えない、あまり、全くの合計回答数を表す。

「該当しない」及び「無回答」は除く。

※H29(2017)年度学部卒業生の回答のうち、「とても」または「少し」を選択した割合が多い選択項目順に並べ替え。



最も評価が高い項目は、1位「8. 友人関係」(89.0%)、2位「2. 専門教育」(84.9%)、3位「4. アルバイト」(84.1%)、4位「3. 課外活動（サークル等）」(80.8%)の順となった。

今回、記述の中で全体的に「コミュニケーション」「友人」「専門教育」「アルバイト」というキーワードで役立っているという記述が多く見られたことから、1位「8. 友人関係」、2位「2. 専門教育」という評価につながったと推察される。

また3位「4. アルバイト」、4位「3. 課外活動（サークル等）」についても、様々なシーンで社交性を培う上で重要な経験であったという記述が見られた。

総評として、大学内外でのコミュニケーション経験がその後の対人関係や職業に活かされていることがわかる。

(6. 学士課程教育について (1) 教養教育)

【質問】(1) 教養教育の下項目は、現在どの程度役に立っていますか？

1. 教養教育を総合的に見て, 2. 英語（第一外国語の学習）, 3. 初修外国語（第二外国語の学習）, 4. 平和科目, 5. 学部の専門教育に関連した科目, 6. 学部の専門分野以外の科目, 7. 教養ゼミ

【結果】(高評価の割合順)

※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらとも言えない、あまり、全くの合計回答数を表す。

「該当しない」及び「無回答」は除く。

※H29(2017)年度学部卒業生の回答のうち、「とても」または「少し」を選択した割合が多い選択項目順に並べ替え。



最も評価が高い項目は、1位「5.学部の専門教育に関連した科目」(83.8%)、2位「1.教養教育を総合的に見て」(71.2%)、3位「6.学部の専門分野以外の科目」(59.5%)、4位「2.英語（第一外国語の学習）」(53.4%)の順となった。

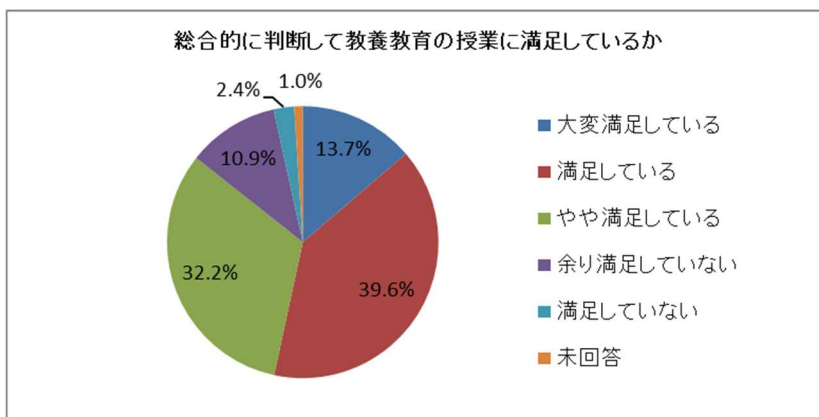
今回、記述でよく見られたのは「…していればよかった」と言う言葉であった。特に外国語に対しての記述が多く、その結果が4位「2.英語（第一外国語の学習）」に出てきていると考えられる。

一方で、他分野への関心・好奇心を広げる“きっかけ”になったという記述も多数ある。

卒業生が社会に出た後に、幅広い視野を持つ上で教養教育の重要性を実感しているようである。

【参考】平成29年度卒業時アンケート結果『設問：総合的に判断して教養教育の授業に満足しているか』

(「大変満足している・満足している・やや満足している」の割合 86.5% (1,365 / 1,578名※未回答除く))



(6. 学士課程教育について (2) 専門教育)

【質問】(2) 専門教育の下項目は、現在どの程度役に立っていますか？

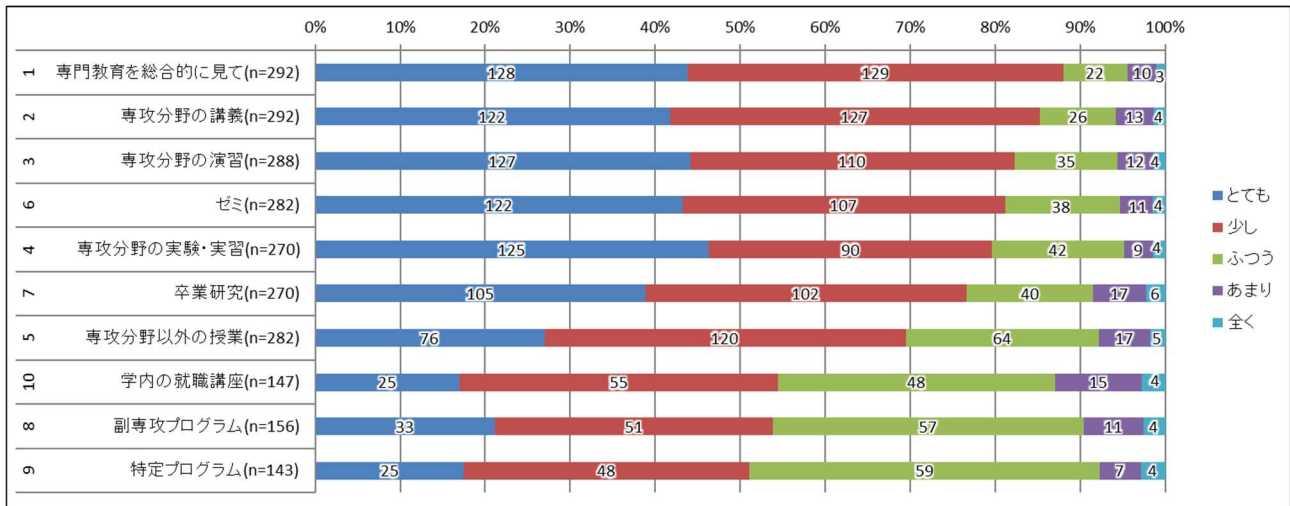
1. 専門教育を総合的に見て, 2. 専攻分野の講義, 3. 専攻分野の演習, 4. 専攻分野の実験・実習, 5. 専攻分野以外の授業, 6. ゼミ, 7. 卒業研究, 8. 副専攻プログラム, 9. 特定プログラム, 10. 学内の就職講座,

【結果】(高評価の割合順)

※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらとも言えない、あまり、全くの合計回答数を表す。

「該当しない」及び「無回答」は除く。

※H29(2017)年度学部卒業生の回答のうち、「とても」または「少し」を選択した割合が多い選択項目順に並べ替え。



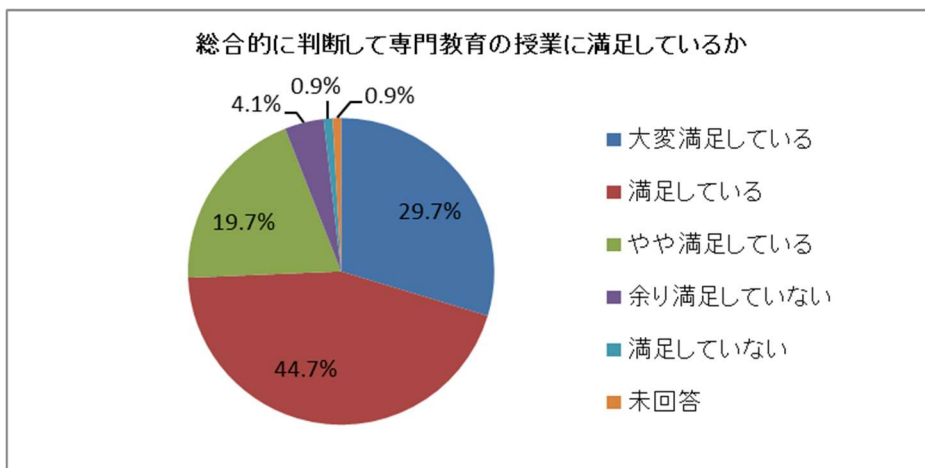
最も評価が高い項目は、1位「1. 専門教育を総合的に見て」(88.0%)、2位「2. 専攻分野の講義」(85.2%)、3位「3. 専攻分野の演習」(82.2%)、4位「6. ゼミ」(81.2%)の順となった。

今回の評価をみて、そのまま専門職へ就職した人と違う分野に就職した人で意見が分かれている。専門分野では勉強した内容がすぐ実践に役立っているようだが、他分野ではあまり役立てられていないようだ。高評価上位の選択肢で8割以上が高評価だったことから多くの人が専門教育を役立てているようである。

総評として、専門教育を社会に出て役立てている人はより深く学んでおきたかった、役立てていない人はもっと広い分野を勉強したかったというようなそれぞれの価値観を見出すきっかけになっているようだ。

【参考】平成29年度卒業時アンケート結果『設問：総合的に判断して専門教育の授業に満足しているか』

(「大変満足している・満足している・やや満足している」の割合 94.9% (1,499 / 1,580名※未回答除く))



（7. 学生支援について）

【質問】 学生対応・支援で下の項目はどの程度、充実していましたか？

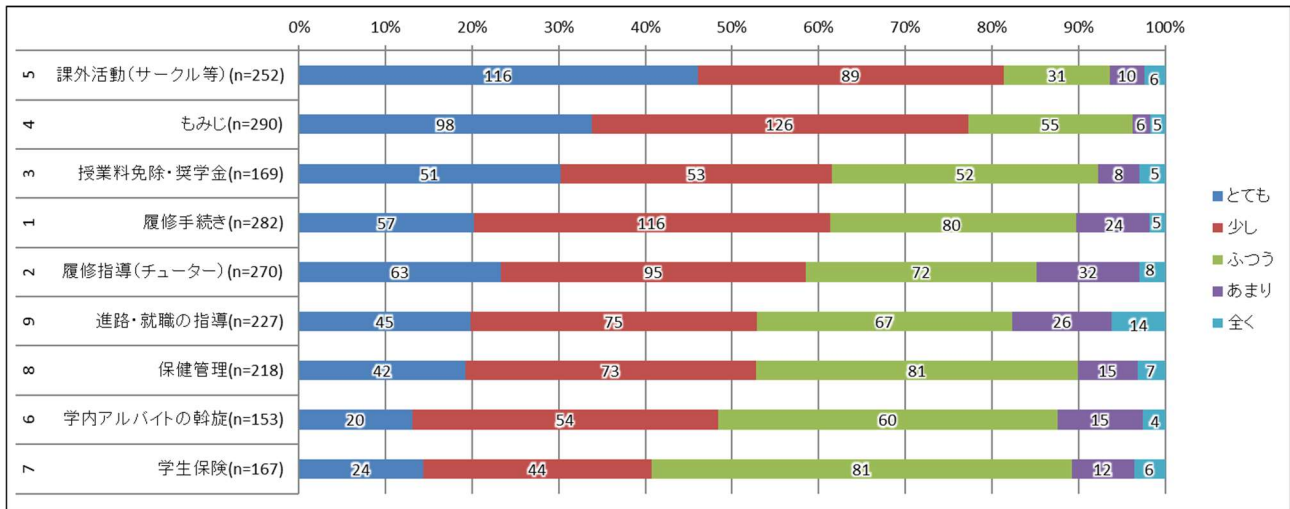
1. 履修手続き, 2. 履修指導（チューター）, 3. 授業料免除・奨学金, 4. もみじ, 5. 課外活動（サークル等）, 6. 学内アルバイトの斡旋, 7. 学生保険, 8. 保健管理, 9. 進路・就職の指導

【結果】（高評価の割合順）

※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらとも言えない、あまり、全くの合計回答数を表す。

「該当しない」及び「無回答」は除く。

※H29（2017）年度学部卒業生の回答のうち、「とても」または「少し」を選択した割合が多い選択項目順に並べ替え。



最も評価が高い項目は、1位「5. 課外活動（サークル等）」（81.3%）、2位「4. もみじ」（77.2%）、3位「3. 授業料免除・奨学金」（61.5%）、4位「1. 履修手続き」（61.3%）の順となった。

自由記述で全体的に「もみじの利用」「授業料免除」「履修指導」などのキーワードが多くみられたことから、満足度の高さが上位2～4位という高評価につながったと考えられる。

一方で支援センターの対応に賛否あり、満足度については意見が分かれているようだ。

総評として、授業料免除や奨学金に対する感謝の意見が多かったことから、経済的に困難な学生に対して大学側の手厚い支援の姿勢がよくわかる。

（８．学生生活について（１））

【質問】（１） 下のような各項目は、学生時代のあなたにどの程度あてはまりますか？

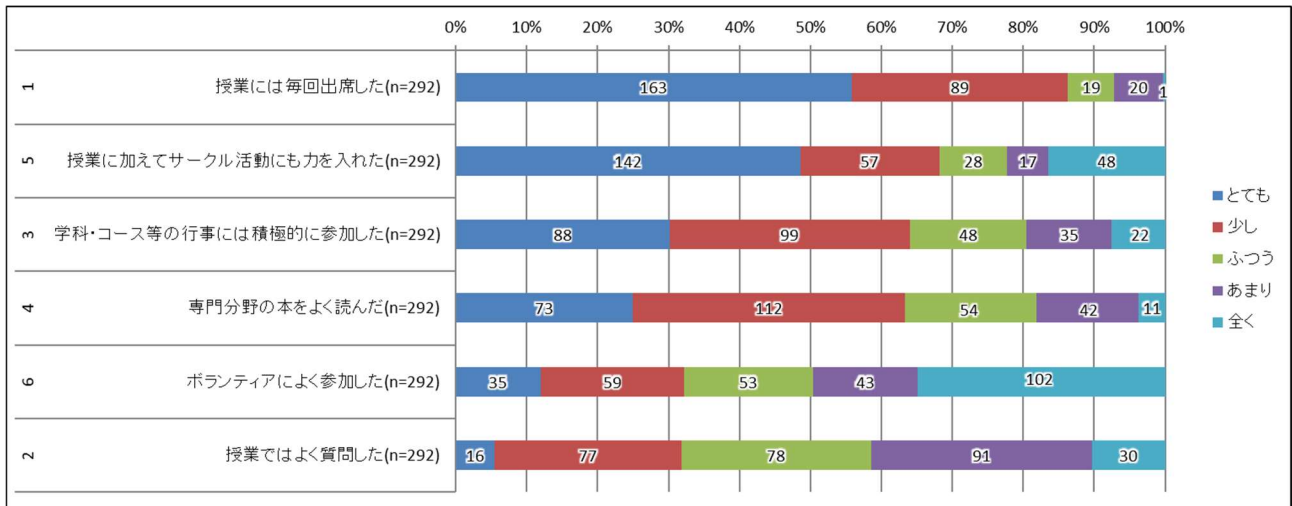
1. 授業には毎回出席した, 2. 授業ではよく質問した, 3. 学科・コース等の行事には積極的に参加した, 4. 専門分野の本をよく読んだ, 5. 授業に加えてサークル活動にも力を入れた, 6. ボランティアによく参加した

【結果】（高評価の割合順）

※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらとも言えない、あまり、全くの合計回答数を表す。

「該当しない」及び「無回答」は除く。

※H29（2017）年度学部卒業生の回答のうち、「とても」または「少し」を選択した割合が多い選択項目順に並べ替え。



最も評価が高い項目は、1 位「1. 授業には毎回出席した」（86.3%）、2 位「5. 授業に加えてサークル活動にも力を入れた」（68.1%）、3 位「3. 学科・コース等の行事には積極的に参加した」（64.0%）、4 位「4. 専門分野の本をよく読んだ」（63.3%）の順となった。

評価上位3つについて、自由意見でも大学に来ることが目的の学生が多く、大学でできる活動を中心に大学生活を送っていたという記述が多かった。中には様々な理由で参加できずに後悔している人もいるようではあるが、総じて充実した大学生活を送れたようである。また4位の「4. 専門分野の本をよく読んだ」については、大学の図書館の書籍の充実ぶりを評価する意見が多かったため高評価になったものと考えられる。

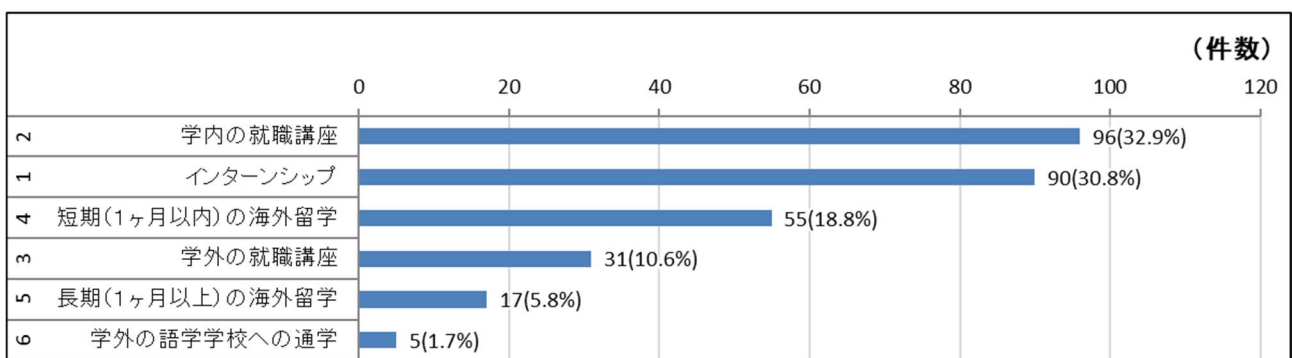
総評として、大半の学生が大学でしかできない体験を中心に、アルバイトやボランティアといった学外活動も並行して行う事で充実した学生生活を送れたようである。

（８．学生生活について（２））

【質問】（２） あなたは次のような活動に参加しましたか。該当するものすべてに○をつけてください。

1. インターンシップ, 2. 学内の就職講座, 3. 学外の就職講座, 4. 短期（１ヶ月以内）の海外留学, 5. 長期（１ヶ月以上）の海外留学, 6. 学外の語学学校への通学

【結果】（該当数の多い順）



（8. 学生生活について（3））

【質問】（3）あなたが現在の学生にアドバイスをするとしたら、次のような大学時代の学習や経験をどの程度すすめますか。

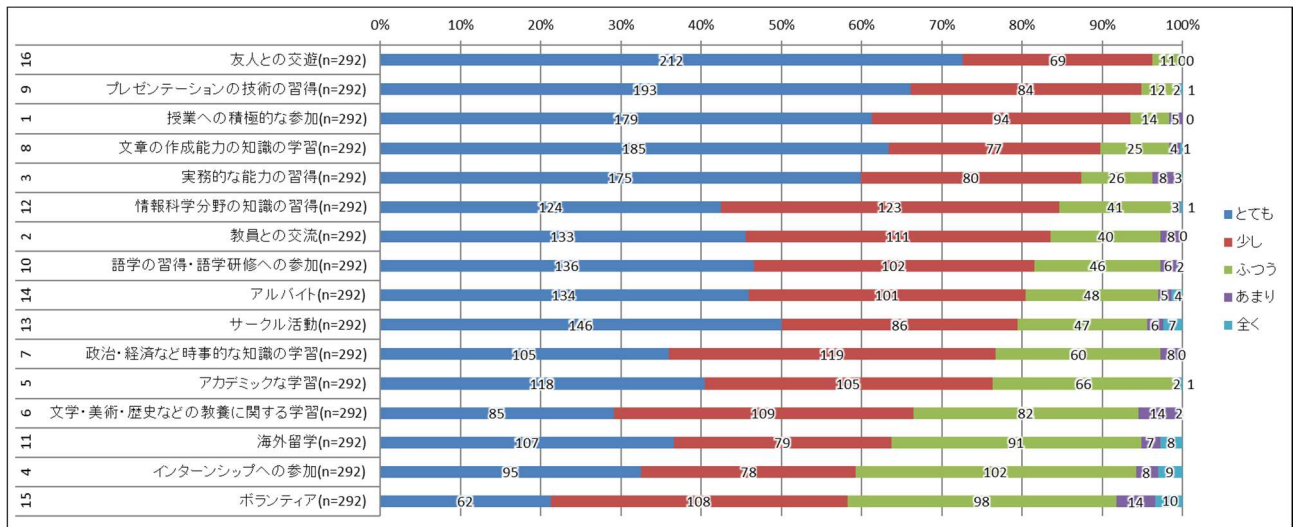
1. 授業への積極的な参加, 2. 教員との交流, 3. 実務的な能力の習得, 4. インターンシップへの参加, 5. アカデミックな学習, 6. 文学・美術・歴史などの教養に関する学習, 7. 政治・経済など時事的な知識の学習, 8. 文章の作成能力の知識の学習, 9. プレゼンテーションの技術の習得, 10. 語学の習得・語学研修への参加, 11. 海外留学, 12. 情報科学分野の知識の習得, 13. サークル活動, 14. アルバイト, 15. ボランティア, 16. 友人との交遊

【結果】（高評価の割合順）

※グラフ中の各項目の右にあるn数は、とても、少し、どちらとも言えない、あまり、全くの合計回答数を表す。

「該当しない」及び「無回答」は除く。

※H29（2017）年度学部卒業生の回答のうち、「とても」または「少し」を選択した割合が多い選択項目順に並べ替え。



最も評価が高い項目は、1位「16. 友人との交遊」（96.2%）、2位「9. プレゼンテーションの技術の習得」（94.8%）、3位「1. 授業への積極的な参加」（93.4%）、4位「8. 文章の作成能力の知識の学習」（89.7%）となった。

自由意見の中でも特に友人関係・コミュニケーションの重要性を伝える内容が多かったことが、1位「16. 友人との交遊」に繋がったものとする。それに関連して2位「9. プレゼンテーションの技術の習得」となっているのは、コミュニケーション能力や獲得スキルがベースとなっているようである。

また今回記述として多かったのが「アルバイトよりも様々な学習や体験」という旨の内容だった。

総評として、多くの卒業生がアルバイトは社会経験として有用ではあるものの、限られた時間で大学生の頃にしかできない経験を積むべきだと伝えていることから、大学内で得られる経験は大変価値のあるものであるようだ。